レ・ブロンゼ／日焼けした連中（1978）

LES BRONZES

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス　コメディ
製作国　フランス
色彩　Color
時間　94分
初公開日 1996/11/03
公開情報 アルシネテラン

【解説】

喜劇演劇集団“スプランディッド”のヒット舞台『愛・貝・甲羅』の映画化で、以前から彼らと親交をもっていた、まだ新人のルコントに白羽の矢が当たっての演出で、フランス全土で５５万人動員の記録的ヒットとなった作品。

西アフリカの仏共同体コートジボアールの首都アビジャンから８０キロばかり南下したリゾート・アイランドに観光客船が着く。ひと夏をここで過ごすメンバーは、女漁りに余念のないスポーツ指導員がいれば、恋よりもそのスポーツに憂さを晴らそうという青年医師、失恋の傷をいやしにきた女秘書、倦怠期の大企業の管理職夫妻もいる、とまさに十人十色。映画はそんな彼らがヴァカンスの解放感の中、さまざまの恋愛模様を織り成す様子をカオティックに綴っていく。Ｍ・ブラン扮する、とにかく誰とでもいいから寝てやろうと虎視眈々な割にドジばかりで結局目的を果たせないひ弱な男が言わば狂言回し的に立ち回る。印象に残るのは彼らのパーティーの司会を務めるタレントと、彼にあこがれる芸人志望の青年のエピソードで、その辺りの醒めたペーソスが後のルコントのテイストとなってもこよう。群像喜劇としてはあまりに整理のされなさが気にはなるが、そのエネルギーは買える一編。「レ・ブロンゼ／スキーに行く」に続く。

【クレジット】

監督	パトリス・ルコント	Patrice Leconte
製作	イヴ・ルッセ＝ルアール	Yves Rousset-Rouard
脚本	パトリック・オプレー	
撮影	ジャン＝フランソワ・ロバン	Jean-Francois Robin
主題歌	セルジュ・ゲンズブール	Serge Gainsbourg
出演	ジョジアーヌ・バラスコ	Josiane Balasko
	ミシェル・ブラン	Michel Blanc
	クリスチャン・クラヴィエ	Christian Clavier
	マリ＝アンヌ・シャゼル	Marie-Anne Chazel
	ドミニク・ラヴァナン	Dominique Lavanant

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.